

出荷基準

品目	規格	葉枚数	苗丈(ポット上 ～生長点まで)	春 (4～5月)	夏 (6～9月)	秋 (10～11月)	冬 (12～3月)
キュウリ	128穴プラグ	1～1.5枚	8～10cm	18～20日	16～18日	18～22日	20～23日
	72穴プラグ	1.5～2枚	8～10cm	18～20日	16～18日	18～22日	20～23日
	9cmポット	2～3枚	14～20cm	22～25日	18～22日	25～30日	25～35日
トマト	128穴プラグ	2.5～3枚	10～12cm	30～36日	26～35日	30～35日	33～36日
	72穴プラグ	2.5～3.5枚	10～15cm	30～35日	26～33日	30～35日	33～36日
	9cmポット	5～7枚	20～25cm	50～60日	45～55日	55～65日	60～70日
ナス	128穴プラグ	2～2.5枚	10～12cm	40～45日	35～40日	38～45日	42～45日
	72穴プラグ	2～3枚	10～15cm	40～45日	35～40日	38～45日	42～45日
	9cmポット	6～7枚	20～25cm	90～105日	80～90日	85～95日	106～130日

※トルバム、トナシム等のナス台木は、上記日数より10～20日必要となります。

※上記以外の苗(スイカ、メロン、ピーマン、各種実生苗等)については、別途お問い合わせください。

※上記基準は、あくまで目安です。ご注文時は葉枚数・苗丈・花芽位置などのご指定はお受けできません。

※低温期の発送には、苗の低温障害・凍結防止のため、状況に応じて寒冷地対策を施します。詳細についてはお問い合わせください。

※生産には最善の努力を尽くしますが、気象やその他の条件により、納期・品種・本数・苗齢がご注文時と異なる場合がございます。

万一、結果不良が発生いたしましても補償には応じられません。

またお客様での鉢上(移植)後や定植後の栽培条件・天候などにより、結果は異なります。

出荷単位

	規格	入数	保証本数 接木苗
プラグ苗 (プラグトレイ)	200穴	200本/トレイ	195本
	128穴	128本/トレイ	125本
	72穴	72本/トレイ	70本
ポット苗	9cm	40本/箱	40本
	10.5cm	28本/箱	28本



会社概要

社名 トヨタネ株式会社

シンボルマーク



Toyotane

タグライン 豊かさ実る、タネを。

本社

〒441-8517
愛知県豊橋市向草間町字北新切12-1
TEL.(0532)45-4137(代表)
FAX.(0532)45-4494

設立

昭和43年10月31日

資本金

3億円

代表取締役社長

川西 裕康

事業内容

種苗(野菜・花きの種子、苗)
農業用フィルム(農ビ・農PO・農ポリ)
温室・ビニールハウス建設請負
施設資材(暖房機・養液栽培システム)
農薬(園芸・水稻・除草用)
培土(育苗・栽培用土)
出荷栽培用資材
上記商品の経済連・農協・販売店・農業生産団体
及び農業生産者への販売

トヨタネTOP野菜苗



トヨタネTOP野菜苗は『Toyotane Original Plant』の略で、地域で一番(トップ)の品質を目標とするという
意味もあります。

長年の種苗販売及び研究農場で培った技術、経験をもとに高品質な苗を生産しお届けいたします。

栽培方法が多様化する中、お客様のニーズに合った苗を受注生産し、お客様の信頼と満足を目指します。



Toyotane

豊かさ実る、タネを。

トヨタネ株式会社

<https://www.toyotane.co.jp>



Toyotane

豊かさ実る、タネを。

トヨタネ株式会社

〒441-8517 豊橋市向草間町字北新切12-1
TEL 0532-45-4137(代) FAX 0532-45-4494

トヨタネTOP苗の強み

設備について

良い苗を安定供給するためには、育苗技術を磨いていくことはもちろん、設備を整えることも重要です。近年、異常気象も増え、苗質を維持するために、温度や湿度を高い精度でコントロールできる設備が必要になってきています。また、病気や害虫を育苗圃場で発生させない、苗からお客様の圃場に持ち込まないためにも、病害虫の対策の整備も欠かせません。トヨタネTOP苗はそのための設備投資をしっかりと行い、「良い苗」の生産に努めています。

育苗技術について

野菜苗の育苗には、高い技術力が必要です。特に、夏場の受注が集中してきている昨今では、限られた人員と圃場面積で、沢山の苗を高い品質で作る技術が求められます。私たちトヨタネは、人財育成こそ、「良い苗」に繋がると考え、研究農場、ナーセリーで蓄積してきたノウハウを若手スタッフへつなぐ技術継承、環境データや管理基準に基づく栽培方針の決定など徹底して実践しています。

生産管理体制について

当社では、育苗に特化した生産管理システムを導入し、各生産拠点、営業スタッフを連携するオンラインネットワークを構築し、生産情報を一元管理、共有化しています。お客様のご注文の時期、品目、品種、規格、育苗方法などによって、個別に生産計画を作成し、計画に基づいて各種作業を進めていきます。データに基づいて設定された生産計画を基準に、各農場管理者の経験とノウハウで苗の生育具合と出荷基準をもとに客観的に判断。計画とのずれが生じていれば、育苗管理技術で生育をコントロールしていきます。経験と勘だけに頼るのではなく、永年のノウハウを蓄積したデータに基づいて育苗管理を行うことで、「良い苗」を安定的かつ効率的に生産できる環境を実現しております。

トヨタネ苗生産の歩み

1990 平成2年 1968年の創業以来、愛知県豊橋市の研究農場で培ってきた技術と経験をもとに、野菜苗生産事業を行うナーセリー部門を設立。

1998 平成10年 ロックウール栽培養液栽培システムの普及に伴い、粒状綿苗などの商品ラインナップを拡大する。

2004 平成16年 ココバッグ栽培システムの発売開始。システムの発売以降、2重ポット2本植えトマト苗、グローブロック2本植えトマト苗など、システム栽培と相性の良い商品の開発が進む。豊橋ナーセリー、事業立上げから約30年間で施設面積：約1ha、年間接木本数：約130万本。

2018 平成30年 豊橋ナーセリーでの生産ノウハウを活かし、静岡県磐田市に磐田ナーセリーを稼働開始。プロファームにて、ハウス内の環境を制御。両ナーセリーで施設面積：約2ha、年间接木本数：約250万本。



商品ラインナップ

苗の状態は、その後の作物の生育、更には収量にも大きな影響を及ぼします。お客さまが安心して栽培できるよう、高品質な苗を生産することでお客様のニーズにお応えします。



グローブロック
2本植えトマト苗

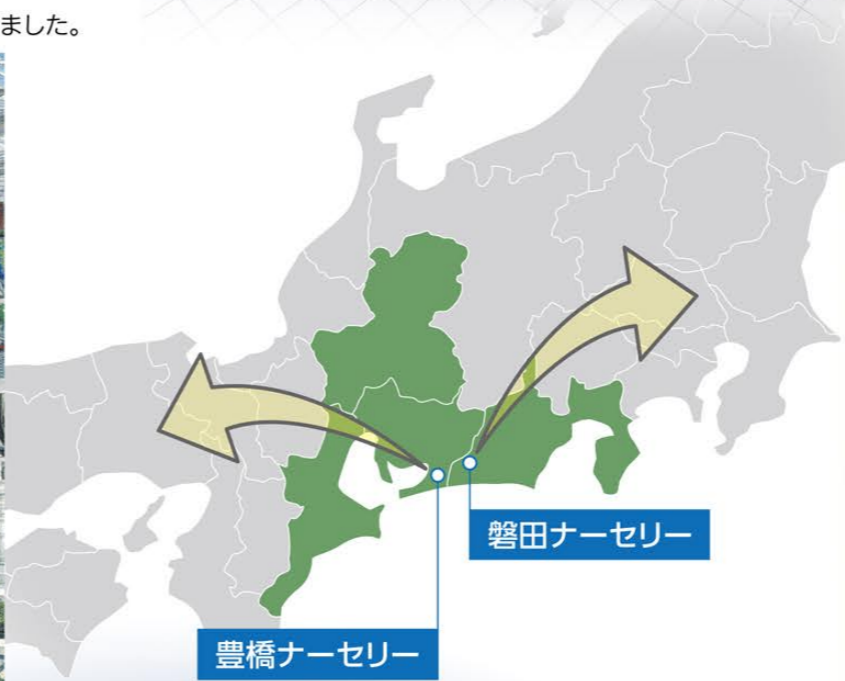
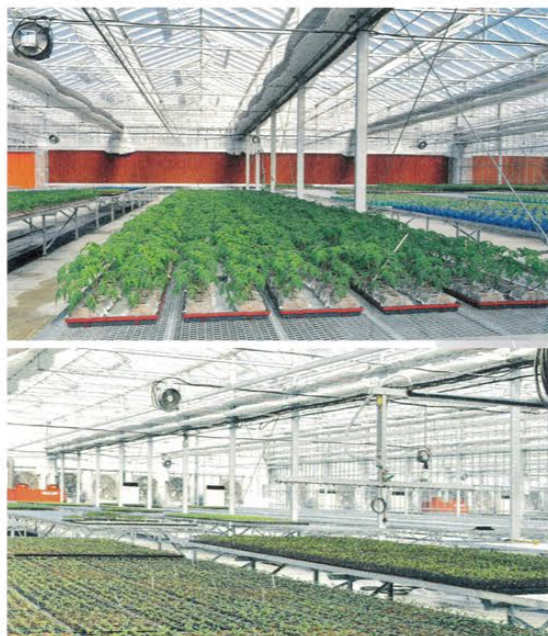
ええ苗

2重ポット
2本植えトマト苗



生産拠点

高品質と安定供給のため、磐田ナーセリーを新設しました。



磐田ナーセリー

生産工程

お客様のニーズに合った苗をオーダーメイドで受注生産しています。



01▶ 播種

- 扱う品種数が多いため、手作業で育苗トレイに確実かつ効率的に種子を播いていきます。
- 播種後は、覆土・灌水し、「発芽室」に入れて管理していきます。「発芽室」では、種の発芽に適した環境を作り出すことによって、確実に均一な発芽を実現しています。

02▶ 接木

- 熟練の接木スタッフが1本1本すばやく丁寧に接木していきます。この接木の出来栄で、接木苗の品質の半分以上が決まります。苗生産の中で最も重要な工程の一つです。



03▶ 鉢替え

- 苗を1本1本丁寧にポリポット・グローブロック等に移植していきます。移植し終わった苗は、スパーシングを行いしっかりと引き締まった苗に育てていきます。



04▶ 品質管理

- 生産した苗を良い状態でお客さまにお届けするため、苗の状態を確認しながら、納品のタイミングを検討していきます。
- 高品質で生育ステージがそろった苗の生産に努めます。



05▶ 出荷

- 生産した苗を丁寧に梱包し、お客様にお届けします。
- 厳しい出荷基準をクリアした苗を選抜して出荷していきます。

